

令和元年度 第3回せたがや生涯現役ネットワーク世話人会議事要旨

日 時：令和元年8月16日（金） 午後5時～午後7時15分

出席者：世話人 兜山、鬼塚、片岡、藤田、石川、臼井、秋山、山根、志水
市民活動・生涯現役推進課 生方、藤木 桑原

場 所：ひだまり友遊会館 第1会議室

1 〈議決事項〉

(1) 臨時総会の議案書（案）について

事務局より令和元年度議案書（案）について説明がなされた。

- ・新規加入団体の挨拶について

臨時総会当日に行う新規加入団体（砂場クラブ）からの挨拶については、議案を審議する前に行ってもらったこととなった。代表挨拶、新規加入団体挨拶、議長の選出という流れとなる。

- ・シニア現役プロジェクトの中間報告について

現在実施中のシニア現役プロジェクトの中間報告を行ってもらうこととなった。

- ・議案書への追記について

①「第3号報告 令和元年度イベント「大人の学園祭」について」内に実行委員一覧を記載する。

②議案書表紙 次第に「団体PR」を記載する。

(2) 臨時総会開催通知（案）について

- ・修正点、追記事項について

交流会に参加団体を増やすために呼びかけ文を追加したほうが良いとの意見があり、兜山氏が8月末までに呼びかけ文を検討し、事務局へ提出することとなった。また、参加費（3,000円程度）と開催場所についても追記する。

(3) その他

- ・総会の日程について

決算報告も含めた前年度の報告をするため、総会は5月末～6月初めに開催することとなった。

- ・座席について

世話人と事務局の座席について検討した。その結果、世話人・事務局ともに前列に前向きで座ることとなった。

- ・臨時総会の意義について

臨時総会の意義は「現年度活動の中間報告」と「次年度の事業計画案、予算案の承認」とし、生涯現役ネットワークの活動意欲、モチベーションを上げる内容としていきたい。

2 〈協議事項〉

(1) あとおし講座について（補助事業提案書について）

初めに鬼塚氏から提案書についての説明がなされた。

〈鬼塚氏〉

令和元年度第2回世話人会であとおし講座、特に地域活動体験講座とまち歩きを継続するための企画書を作成して欲しいとの事務局からの依頼により作成したものである（1-①）。そのため、その他の企画については今後活動内容として手を広げてはどうかという提案の内容となっていることをご承知いただきたい。

生涯現役ネットワークの目的は高齢者に社会参加の場を提供し、活動の仲間を増やしていくことで

あり、事業内容はこの目的を達成するためのものとなっている。(以下は事業内容)

- 1 退職後のシニアが世田谷を見直し、仲間づくりのきっかけとする事業。
 - ①シニアの地域活動体験講座とまち歩き講座の開催
 - ②シニアの社会参加の支援者やリーダー育成を目的とした講師派遣支援
 - ③社会参加ニーズのアンケート調査
- 2 シニアメンバーを受け入れる活動団体のネットワークを強化する事業
 - ①地域活動団体の交流会の開催
 - ②社会福祉協議会やボランティアセンターの事業との連携の仕組みづくり
 - ③メンバー募集や活動PRに関するIT支援の仕組みづくり

本プロジェクトは世話人会が事業計画や予算、決算などの事業責任を持つ。具体的な活動はプロジェクト実行委員を公募し、世話人会に進捗報告を行いながら進める。また、予算については最低限で積算しているため、世話人みなさんのご意見をいただきたい。

藤田氏より、本事業予算についての区の見解について質問があったため、事務局より以下のとおり回答した。

〈事務局〉

生涯現役ネットワークの予算について区全体の予算事務締め切りに間に合うためには、8月末を目処に事業計画や予算額を決定し、9月の総会で承認を経る必要がある。

鬼塚さんに提案いただいた予算の叩き台については補助金の要綱と照らし合わせて対象外のものはないが、予算計画は事業計画に基づくものなので事業内容については世話人会で検討していただきたい。

世話人会で総意を取った事業計画と予算計画であり、総会で承認されたものであれば次年度の予算要求に反映することは可能である。

各世話人の意見は以下の通りである。(質問への回答、補足発言については→で記載。)

〈藤田氏〉

- ・シニア現役プロジェクトを立ち上げたときには細部まで打合せを行い、計画に時間をかけていたと聞いている。新たな事業を立ち上げることにして事務局はどのように見通しているのか。
→数ヶ月で来年度の予算に反映できるような計画を立てるのは難しく、来年度、再来年度をかけて検討をしていくことが必要だと感じる。(事務局)
- ・世田谷区の補助金の主旨やどのような視点で事業計画や予算案を確認しているのかを教えてください。
→区では地域活動団体に助成金を交付するための要綱が定められており、要綱の対象となっている事業・団体に対して助成金を交付している。
現在実施しているシニア現役プロジェクトは補助金を申請するにあたり、生涯現役ネットワークで検討し、合意を取ったうえで実施されているものとは言いがたい。今回は既存の補助金制度を活用し、生涯現役ネットワーク全体で合意を取った事業を申請するというのではないだろうか。そのために世話人会で事業内容を議論していただいております、生涯現役ネットワーク全体で合意を取りまとめたという結果は補助金を受けるにあたっての価値になると考えていただいてもよい。(事務局)
- ・補助事業計画書の成果として「地域包括ケアシステムのしくみづくりに寄与していく。」とあるが、本事業を地域包括ケアシステム実現のための事業と考えることはできるのか。
→地域包括ケアシステムのなかには「社会資源を発掘する」という分野がある。生涯現役ネットワークの講座やイベントをきっかけとして地域で活動する人材を発掘することで、地域包括ケアシステムに寄与できるのではないかと考える。

〈片岡氏〉

- ・現在の計画で予算要求を行うことは可能か。
→事業計画として不明点が多いため、現在の計画のままで予算要求を行うことは難しいだろう。(事務局)
- ・1-②(講師派遣)については講師に何を指導してもらうのかははっきりしていないと感じる。
→ボランティア協会や社会福祉協議会が地域団体の紹介などをテーマに講習会を行っているため、講師の枠を開拓していけるのではないかと考えている。
- ・鬼塚氏から提案があった事業は今後活動していくべき事業だと感じるが、提案があった事業全てをまとめていくには時間が足りない。鬼塚氏が作成したたたき台をベースに今後も世話人で検討を続けていくほうがよいのではないか。
- ・まち歩きについては目的や内容が明確であると感じる。まち歩きのように準シニア世代に働きかけて活動に参加してもらうような事業は毎年継続していくべき事業であるので来年度も実施するほうが良いだろう。
- ・本プロジェクトの目的は準シニア世代へ地域活動参加の必要性を伝え、体験をしてもらい、地域活動に対する要望を集めることである(アンケート実施など)。しかし、地域活動参加の必要性を伝えることは難しく、参加者が少ないのが現状である。
- ・プロジェクト実行委員の実行委員長は世話人会のメンバーであるべきだろう。

〈鬼塚氏〉

- ・生涯現役ネットワークの窓口だけでは少ないと考える。社会福祉協議会などからも生涯現役ネットワークへ参加する団体や人材を増やせればよいのではないか。そのためには信頼関係を築いていかなければならない。

〈山根氏〉

- ・1-③(アンケート調査)についても具体的ではないように感じる。
- ・ITは様々な活動の要となっているので重視すべきだと考えるが、まだ事業内容が具体的ではないので今後検討していく必要があるだろう。
- ・具体性にかけるので地域包括ケアシステムについては記載しないほうがよいのではないか。
→事業内容として地域包括ケアシステムを目指しているわけではない。最終的に地域包括ケアシステムにつながるような活動にしていきたいと考える。(鬼塚氏)

〈臼井氏〉

- ・おすそわけ講座とまちあるきについては是非進めていきたい。また、実績のあるITグループの事業(町会へのHP作成支援など)についても実施できれば良いと考える。
→来年度に実施に向けての提案ではないが、町会へのHP作成支援にむけての資料をITグループリーダー真貝氏より預かっている。内容についてはメールで送付するので確認をして欲しい。(藤田氏)
→事務局へも真貝氏より町会へのHP支援を継続実施していくことはできないかというご相談をいただいていた。シニア現役プロジェクトは令和元年度で終了するため、今後の生涯現役ネットワークで行っていく事業については世話人会にて検討し、総会で承認が得られたものとする。事務局ではなく世話人会へ図ってほしいとの回答を行った。(事務局)
- ・実行委員会メンバーを公募することについては外さず、開かれた事業としていきたい。
→公募先についてはネットワーク団体だけに限らず公募を行いたい。(鬼塚氏)

〈志水氏〉

- ・既存の補助金として提案型協働事業があるかと思うが、活用して本事業を実施することはできないのか。
→本年度の申請締め切りを過ぎているため難しい。(事務局)

補助事業提案書のシニアの地域活動体験講座とまち歩き講座の開催（1-①）については令和2年度に実施する事業とし、事業計画に基づき予算計画を修正することとなった。また、それ以外の事業については今後も世話人会にて継続して検討していく。

(2) その他

- ・生涯現役ネットワーク三つ折パンフレットについて
今後の講座でも使用していくため、「パンフレット制作費」として令和2年度補助事業経費として申請をすることとした。
- ・今後の世話人会検討テーマについて
藤田氏より今後の世話人会での検討テーマとして、「大人の学園祭テーマの見直し」が提案され、今後、世話人会で検討していくこととされた。また、片岡氏より世話人内でチームを作り検討をしていくほうがよいのではないかとの発言もなされた。

3 次回の世話人会の開催予定

- ・日時：9月2日（月） 17時半～
- ・場所：ひだまり友遊会館 第1会議室

次回世話人会では以下のテーマについて検討を行う。

- ・臨時総会の議案書確認（調整中であつた事項について）
- ・あとおし講座について